



(岡崎別院本堂創建の上人)

第二十二代達如上人百五十回忌に念う

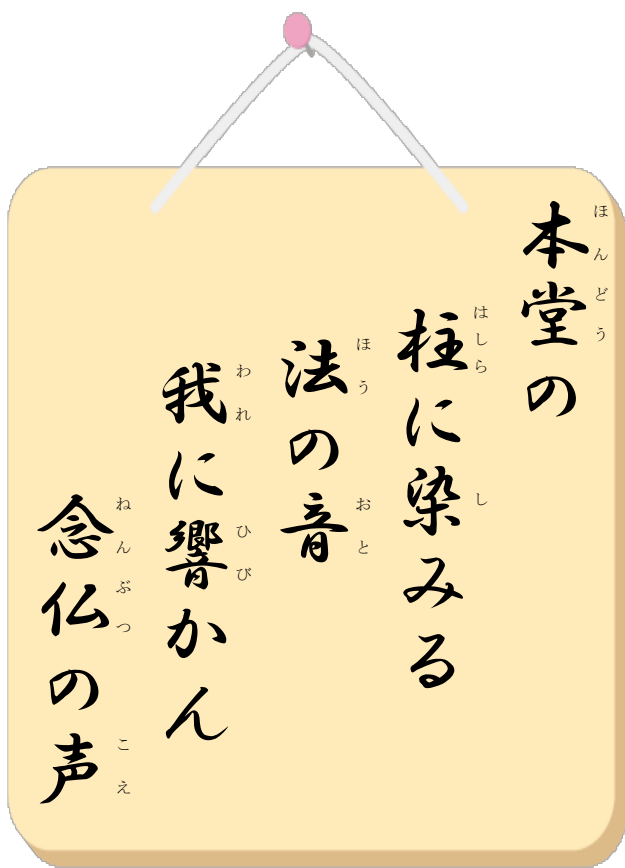


本堂



本堂内部

第18号
 (新春特別号)
 平成26年
 (2014年)
 1月・2月・3月
 発行・編集
 岡崎別院
 輪番 福田 大
 印刷
 滋賀凡愚舎



「先達の願いに聞く」～輪番～



表書

裏書

本堂創建当時、ご本尊を御安置する以前に納められていた箱の箱書き。

修練が行われていたころの看板。「大谷派中央修練道場」の書。

新春のお慶びを申し上げます。昨年、災害により被災された皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。今年も、災害のない、平穏な年であることを念じ上げますが、何がいつ起こるか分からない今を生きているのも事実でありましょう。激動の時代を生きられた蓮如上人は、「仏法には、明日と申す事、あるまじく候う。仏法の事は、いそげ、いそげ」と述べられています。本年は、当院本堂創建の上人である「第二十二代達如上人」の百五十回忌の年であります。本堂が創建され二百余年、それは幾多の台風や地震に耐えてきた歴史であります。そのような由縁の本堂は、多くの法話を響かせてきたこととす。彰如上人の学習の主任として清沢満之先生が教鞭をとられました。また「鏡池会」の中心として金子大榮先生や曾我量深先生など、多くの先生方の「獅子吼(ししく)」された声が「染みる」本堂であります。それは、現在に至っても、「報恩講」・「朝の法話」・「三日講」・「蓮華の集い」として伝承され、時代や人の変遷と共に、聴聞される方々や護持して頂いている方々によって継承されています。

岡崎別院責任役員
 小山 洋氏
 山城第二組圓重寺住職

新春のお慶びを申し上げます。岡崎別院は、法然上人がはじめて草庵を営まれた金戒光明寺(黒谷)に隣接した場所です。親鸞聖人が岡崎の庵室より吉水の法然上人のもとに通われ、又、関東より帰洛されて最初に住まわれたのも岡崎の草庵であったといわれています。そのことを思いますと、当院の立地は宗派を越えて大切な別院であります。本堂は、草庵造りと呼ばれ、一八〇二年(享和元年)に東本願寺第二十二代達如上人が岡崎御坊として建立されました。このような草庵造りは、茨城県の阿弥陀寺(大山の草庵)西念寺(稲田の草庵)などが知られています。その後、一八七六年(明治九年)に岡崎別院と改称され、その年に新門の学問所である御学館が移築されて、彰如上人が学ばれております。金子大榮先生、曾我量深先生をはじめとする多くの方々の間法道場として、今日まで受け継がれてまいりました。現在の御輪番も就任以来、岡崎別院が「サンガ」の集いの場として多くの方々に聞法していただき、その輪が広がることを願って活動してこられました。本年は達如上人の百五十回忌の法要の年にあたります。御本山において法要が勤まると聞いておられます。これを機縁にお一人でも多くの方々にご参詣いただきたく、御輪番共々お待ち申し上げます。

〈結婚式〉

九月二十九日挙式
 發知 道隆さん
 高島加奈子さん



十月十九日 挙式
 伊豆 千紘さん
 片桐 一成さん



〈結婚式予約状況〉

二〇一四年
 (平成二六年)

◇一月二十六日
 浅山家

◇四月五日
 小野家

推進員自主研修会



去る九月二十五日
 大阪教区第二組推進員養成講座を修了された約二十名の方々が、会員のさらなる聞法、学習のため、岡崎別院において研修をされた。
 まず本堂で輪番の法話を聴聞し、庭園を散策後、書院で昼食をとられた。

宗派を超えての参詣



去る十月十日、ノートルダム女学院の中学二年生の全生徒約九十五名が、岡崎別院に参詣された。
 本堂が他の行事で使用されていたので、専修学院で輪番の法話の後、庭園、お茶室、延賞台跡地を散策された。

報恩講厳修の御礼



去る十月二十三日、今年度も皆様方のご支援・ご協力により約百七十名の方々にご参詣を賜り、報恩講を厳修することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

顧みれば、山城第一組・山城第二組の住職・坊守会の皆様方により事前の清掃奉仕を、大谷専修学院の皆様方により仏具のお磨きを、また当日は各方面のご協力により、宣心院殿御参修、大谷専修学院院長狐野秀存師御教導のもと山城第一組・山城第二組の住職、若院の御出仕を賜り、岡崎別院雅楽会のご協力のもと、皆様方の御尽力により厳修することができました。これからも益々のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

蓮華の集い



「蓮華の集い」は、『お寺で聞く子育てのお話会』という内容で子育て中のお母さんを対象として年間四回開催している。
 託児所も設けて、毎回幅広い年齢層の方々の参加がある。

(真宗大谷派
 大谷婦人会
 岡崎別院支部)

岡崎別院の所在と周辺のご旧蹟



京都駅・東本願寺から 当院への交通手段

- ①市バス100番『岡崎道』で下車、バスの進行方向に徒歩5分、左手。
- ②タクシーで約20分。
- ③地下鉄烏丸線 国際会館行にて丸太町駅下車、バス停『烏丸丸太町』東行にて93番錦林車庫行、又は204番北大路バスターミナル行に乗車『岡崎神社前』下車、眼前。
- ④大型バスでのご参詣

※大型バス4台が駐車できるバスプールが正面にあります。

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
 真宗大谷派(東本願寺)

岡崎別院

〒606-8335
 京都市左京区岡崎天王町26番地
 電話・FAX 075-771-2921
 ホームページ
<http://okazakibetsuin.com/>
 メールアドレス
info@okazakibetsuin.com